標高差60 がほ 汗かいて上

自然歩道」が歩きやすいの 休憩地の整備された

界稜線に出合う。左

(南東

ると、京都府と滋賀県の境

らく進めば赤い送電鉄塔が

ら約50於のところにトイレ

で案内しよう。



橋を渡って、と

その山頂へは、案内表示や まれた山である=写真①。 り紀貫之にも歌われ、親し 境界に位置し、いにしえよ は京都市山科区と大津市の ベンチがある広場に着く。

(標高593以)

に緩やかな林道の終点に、 を渡ると林道に合流してト イレがある。ここからすべ に沿ってさらに進む。 を抜けて突き当たった小川 むと貯水池があり、その間 林の中を抜け、小さな橋 の道標がある。

京都から行ける

音羽山 11

沿って住宅街を1世ほど進 海自然歩道 停で下車。西へ進むと「東 家阪バス「国分団地」 JR東海道線石山駅から 音羽山

> 線を進む。 方向 石山寺に至る。ここは右 (北)へ音羽山山頂まで稜 へ行くと千頭岳から

に至る。ベンチがあり、木 下ろせる。山頂までは近い 々の間からは近江大橋が見 O がほど進むとパノラマ台 ノダウンをくりかえし70 ここから100 がほど進 一つ三つ上り下りのアッ 一休みしていこう。 ルが通る。 叡山、その奥には比良山系、 には新幹線の音羽山トンネ トろせる。また、山頂直下 西には山科、 琵琶湖と大津の町並み。北 を楽しもう。北を望めば比 しばらく山頂からの展望

緩やかな道を「音羽山路傍 に向かう。木々に囲まれた 休憩地」の分岐へ。分岐か 下山は逢坂から蝉丸神社

ある広場に着く=写真8。 て、三等三角点とベンチが 然歩道から20 がほど離れ 頂が望める。山頂は東海自 あり、その送電線の先に山 京都市街が見 る。バス停より歩行距離約 札口はすぐのところにあ 立つ。鳥居をくぐり石段を 降りれば、京阪大谷駅の改 むと蝉丸神社の境内に降 然歩道を離れ、 もあるので一息入れよう。 る陸橋に出る。陸橋を渡り 逢坂の関跡」から東海自 休憩地からは木段混じり 国道1号を渡 林の中を進

8#1, 日本山岳会京都 宇都宮道人 歩行時間目安は5時

です。 ||次回は3月9日掲載予定

【アクセス】JR東海道線石山駅から京 阪バス「国分団地」バス停下車。または石 山駅から瀬田川畔に出て川沿いを石山寺手 前まで下り、 そこから東海自然歩道に沿っ て国分団地に至ることもできる。歩行目安 は1.5時間。

琶湖や比良山 不 眺望 鳴滝不動を経て京阪膳所本 る分岐、さらに30がほどで、 むと京都側の牛尾観音に下



